

第5学年 国語科学習指導案

1 単元名 作品を自分なりにとらえ，朗読しよう 「大造じいさんとガン」

2 指導観

○ 本学年の子どもたちは，1学期の「あめ玉」で，人物の会話に着目しながら登場人物の心情を読む学習を経験している。その中で，わかりやすい叙述に沿って自分の考えを述べるができるようになってきている。また，「のどがかわいた」では登場人物の相互関係や心情，場面についての描写をとらえ，イタマルとミッキーの関係を変えるきっかけとなった出来事に着目して，変容する二人の心の通い合いを読み取っている。さらに，「次への一歩～活動報告書～」では文章全体の構成の効果を考え，目的や意図に応じて簡単に文章を書くこともできている。

これらの学習を通し，子どもたちは読みの根拠となる叙述を示すことはできるようになってきた。しかし，叙述をもとに自分の考えをまとめ，相手に伝わりやすいように説明したり，友だちの意見と自分の考えを比べながら聞いたりすることで，それを深めたり，表現の効果を工夫して書いたりすることは十分とは言えない。

○ 本教材は，大造じいさんと残雪とのちえの限りを尽くした戦いを通し，残雪の頭領らしい態度に感動し，ただの鳥から人物のように捉えていく大造じいさんの見方や思いの変化を描いた物語である。また，敵対する他者の存在を固定的にとらえるのではなく，相手の行動を認め，相手への見方を変えることができる大造じいさんの生き方を通し，子どもたち自身も人として広がりを生むことのできる教材である。

この物語は，前書きと四つの場面から構成されている。前書きは作者が「書き手」として登場し，読者を物語の世界に誘い込む役割を果たしている。1から3の場面では，1年毎の大造じいさんと残雪の戦いが，4の場面では，残雪との別れが描かれ，その展開の中に大造じいさんの残雪に対する見方や思いの変化を読み取ることができる。叙述の特徴として，残雪に対する大造じいさんの見方の変化が残雪の呼称からわかり，情景描写は周りの景色や様子だけでなく人物の心情をも表わしていることがわかる。これらのことから，文章構成の工夫や人物の呼称の変化（たかが鳥・いまいましいやつ→英雄・えらぶつ・おれたち），情景描写に着目して読む読み方を習得できる教材である。

また，文章の内容や特色を生かし，自分の思いや考えが伝わるように朗読することのできる教材である。さらに，残雪とハヤブサが戦っている場面の叙述を取り上げ，短い文を続けるという書き方によって生み出される臨場感に着目させることで動きのあるものや場面について文章を書く学習へとつなげることのできる教材でもある。

○ 本単元の指導にあたっては，まず，題名から想像したことを考えさせる。その際，ガンの写真を提示して，物語の内容をイメージしやすいようにしていく。そして，題名の中の助詞「と」に着目させ，大造じいさんとガンの関係について問題意識をもた

せる。次に、全文を通読した後、心に残ったこと・考えたこと・疑問に思ったことなどについての感想を書かせる。その後、前書きから大造じいさんの人物像をとらえ、前書きの効果を押さえる。

読みを深める段階では、まず、音読をし、本時の学習の内容をつかませる。次に、大造じいさんの心情と残雪との関係がわかる文に線を引かせる。その文を全体で発表し、確認していく。めあてを明確にするために、その中から中心文を教師が提示する。しっかりと自分の考えをもたせるために、そこからわかる大造じいさんの心情をまずは学習プリントに書くようにする。自分の考えを書いた後は、小グループで話し合いをし、全体で話し合う学習形態をとる。友だちの考えを受けて自分の考えをつなげながら、より深めたり、広げたりするように、「話し合いの進め方カード」を使い、計画的に話し合うことができるようにする。各場面の学習の終わりには、読み取った大造じいさんの残雪に対する気持ちや思い、またはその変化をおさえていく。さらに学習の振り返り活動を取り入れ、小グループや全体での話し合いを通しての自分の考えの深まりや広がりを書きまとめることで、本時で学んだ読み方や話し合い方を確認していくようにする。

読みをまとめる場面では、読み深めたことをもとに、題名「大造じいさんとガン」に戻り、作者が伝えたかったことを話し合う。そして、同じ文章を読んでも一人ひとりの感じ方や思い・考えが違うことを大事にするとともに、自分の思ったことや考えたことをどのように音声化すれば聞き手にも良く味わってもらえるかなどを考えながら朗読に取り組んでいく。

3 単元目標

- 叙述をもとに大造じいさんの心情の変化を読み取ることができる。
- 自分の考えを明確にするために書くことができる。
- 自分の考えや意見を友だちに聞こえやすい声でわかりやすく話し、友だちの意見を自分の考えと比べながら聞くことができる。

4 学習指導計画：9時間

(手だて ※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環境**)

時	主な学習活動と内容	教師の支援と手だて
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 題名と前書きから、読みのめあてを作ることができる。 </div> 1 本時のめあてを確かめる。 2 題名について話し合う。 3 前書きについて話し合う。 4 題名と前書きをつないで読	○題名から内容を予測し、疑問を出し合わせる。 ○前書きを範読し、前書きがあるのとないのとでは、読者の読む姿勢はどう違うか比べさせる。 ○題名の中の助詞「と」に着目して考える

	み、読みのめあてを作る。	ように、指示をしていく。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">読みのめあて 大造じいさんと残雪の関係を読み取ろう。</div>	
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">全文を読み、初発の感想を書くことができる。</div>	
	1 本時のめあてを確かめる。 2 全文を音読する。 3 初発の感想を書き、話し合う。	○最初は教師が範読して、音読の仕方や難しい語句について確かめる。 ○心に残ったこと・考えたこと・疑問に思ったことなどについて書かせる。
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1 の場面を通して、大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取ることができる。</div>	
	1 めあてを確認して音読する。 2 「残雪」の呼称と、それに対する大造じいさんの心情をワークシートに書く。 3 「残雪」の呼称と、大造じいさんの心情を発表する。 4 情景描写について考える。 5 学習のまとめをする。	○「残雪」の呼称は黒で、大造じいさんの心情がわかるには赤で線を引き区別させる。 ※1 自分の考えを整理するために書き、発表への姿勢を作ることができるようにする。 ○根拠となる部分に線を引かせ、読み取ったことを発表させる。 ※2 話し合いの進め方カードを元に、小グループで話し合うことができるようにする。 ○「秋の日が美しく輝いていました」の一文を提示し、大造じいさんの心を知る手がかりとさせる。 ※3 振り返りカードを書かせ、「話す・聞く」を意識することができるようにする。
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2 の場面を通して、大造じいさんの気持ちと、残雪に対する見方の変化を読み取ることができる。</div>	
	1 めあてを確認して音読する。 2 どんな残雪か、また大造じいさんは残雪をどう思っているかワークシートに書く。	※1 自分の考えを書くことで、考えを整理し、発表への姿勢を作ることができるようにする。 ○根拠となる部分に線を引かせ、読み取っ

	<p>3 残雪はどんな鳥か，大造じいさんは残雪をどう思っているか発表する。</p> <p>4 学習のまとめをする。</p>	<p>たことを発表させる。</p> <p>※環2 話し合いの進め方カードを元に，小グループで話し合うことができるようにする。</p> <p>※3 振り返りカードを書かせ，「話す・聞く」を意識することができるようにする。</p>
<p>5</p> <p>6</p> <p>5の4</p> <p>本時</p> <p>6 / 9</p>	<div data-bbox="359 465 1449 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>3の場面を通して，大造じいさんの気持ちと残雪に対する見方の変化を読み取ることができる。</p> </div> <p>1 めあてを確認して音読する。</p> <p>2 3の場面の内容が四つに分けられることを確認する。 (前半をA，後半をBとする)</p> <p>3 残雪の様子，また大造じいさんが残雪をどう思っているかわかるところに線を引く。</p> <p>4 Aの場面における大造じいさんの残雪に対する気持ちについて話し合う。</p> <p>5 Bの場面における残雪の様子から，大造じいさんの残雪に対する気持ちの変化を話し合う。</p> <p>6 学習のまとめをする。</p>	<p>○大造じいさんの心情が変化する原因となった出来事に注目させる。</p> <p>○根拠となる部分に線を引かせ，読み取ったことを発表させる。</p> <p>※1 自分の考えを書くことで，考えを整理し，発表への姿勢を作ることができるようにする。</p> <p>※環2 話し合いの進め方カードを元に，小グループで話し合うことができるようにする。</p> <p>○ワークシートをもとに発表させる。</p> <p>※3 振り返りカードを書かせ，「話す・聞く」を意識することができるようにする。</p>
<p>7</p> <p>5の1</p> <p>5の2</p> <p>本時</p> <p>7 / 9</p>	<div data-bbox="347 1563 1436 1664" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>4の場面と残雪の呼称の変化を通して，大造じいさんの気持ちと残雪に対する見方の変化を読み取ることができる。</p> </div> <p>1 めあてを確認して音読する。</p> <p>2 これまでの残雪の呼称とそのときの大造じいさんの心情を確認する。</p> <p>3 この場面での残雪の呼称に線を引く。</p> <p>4 大造じいさんの心情の変化を読み取る。</p>	<p>※環 掲示物やワークシートを使って前時までの学習を想起できるようにする。</p> <p>○根拠となる部分に線を引かせ，読み取ったことを発表させる。</p>

	<p>5 学習のまとめをする。</p>	<p>※1 自分の考えを書くことで、考えを整理し、発表への姿勢を作ることができるようにする。</p> <p>※環2 話し合いの進め方カードを元に、話し合うことができるようにする。</p> <p>○ワークシートをもとに発表させる。</p> <p>※3 振り返りカードを書かせ、「話す・聞く」を意識することができるようにする。</p>
8	<div data-bbox="359 593 1444 694" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>作品の中から、感動した文章や興味を持った文章を選び、心情や情景を考えながら朗読することができる。</p> </div> <p>1 題名「大造じいさんとガン」に戻り、読み取ったことをもとに、作者が伝えたいことを考える。</p> <p>2 感動した文章や興味を持った文章を選ぶ。</p> <p>3 朗読する。</p> <p>4 朗読を聞いて、感想を書く。</p> <p>5 感想を交流する。</p> <p>6 学習のまとめをする。</p>	<p>○これまでの読み取りを振り返って、自分で場面を選択させる。</p> <p>○朗読を聞きながら、気付いたことや助言をメモする。</p> <p>※3 振り返りカードを書かせ、「話す・聞く」を意識することができるようにする。</p> <p>○朗読の仕方や、感想の交流でこれまでの学習を生かすようにする。</p>
9	<div data-bbox="351 1366 1436 1467" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>短い文章をつないで、行動などを表す方法を知り、身近な場面でこの手法を使った文を書くことができる。</p> </div> <p>1 「残雪」とハヤブサの場面を振り返る。</p> <p>2 短い文が続く表現について、考える。</p> <p>3 身近な場面を、短い文章を続けて書いてみる。</p> <p>4 書いた文章を交流する。</p> <p>5 学習のまとめをする。</p>	<p>○朗読の手法を使い、臨場感を出すようにする。</p> <p>○臨場感やリズムの良さやテンポの良さを感じさせる。</p> <p>○書くことがむずかしい子どもには、例文を示し、言葉を当てはめて考えさせる。</p> <p>○発表を「聞く」ことを意識させる。</p>

第5学年 組 本時学習指導案

5 本時（6／9）

6 本時の目標

- 仲間を救おうと必死で戦う残雪の姿や、最後の頭領らしい堂々とした態度を見た大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取ることができる。
- 自分の考えをもち、友達の考えと比べながら話したり聞いたりすることができる。

7 本時指導の考え方

本時は、仲間を救おうと必死で戦う残雪の姿や最後の頭領らしい堂々とした態度を見て、残雪に対する大造じいさんの気持ちや見方の変化を読み取る場面である。

前時に、おとりを使ってなんとかして残雪を負かしたいという大造じいさんの気持ちを学習している。本時では、まず前時を想起させ、掲示物を参考に1・2，3の前半の場面を一緒に追っていき、大造じいさんの残雪への気持ちや見方を確認する。

次に、大造じいさんがじゅうをおろしたことについて、どうしておろしたのかを根拠となる文をもとに考えさせる。その際、自分の考えをワークシートへ書き込ませる。つまりいている子どもには、残雪のどのような姿を見て、じゅうをおろしたのかという視点をあたえて考えさせる。

そして、「大造じいさんは、強く心を打たれて、ただの鳥に対してのような気がしませんでした。」に注目させ、なぜそう思ったのかを読み取り、大造じいさんの気持ちを一人ひとりに考えさせる。

さらに、小グループでの話し合いを取り入れ、「話し合いの進め方カード」を使うことで計画的に話し合いができるようにする。その後、全体で話し合わせ考えをまとめていく。発表をするときには「〇〇から～だと思えます。」など根拠となる文をもとに発表することができるようにしていく。また、ここでは大造じいさんの残雪への気持ちを3の場面の前半と比較させ、残雪への気持ちや見方が大きく変化したことをとらえることができるようにする。

最後に、小グループや全体での話し合いを通しての、自分の考えの深まりや広がりについて「今日の学習で」を書き、本時の振り返りのなかでそれらを意識することができるようにする。

8 準備

- 教師 板書用カード 挿絵 「話し合いの進め方カード」
- 児童 教科書 ワークシート 色鉛筆

9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※環境)

学習活動と内容	教師の支援と手立て
<p>1 前時学習を想起し、めあてを確かめる。</p>	<p>※環境教室掲示、各自のワークシートで前時の学習を想起することができるようにする。</p>
<p>めあて ただの鳥に対してしているような気がしない大造じいさんの気持ちや残雪への見方の変化を話し合って読み深めよう。</p>	
<p>2 3の後半場面を音読する。</p> <p>3 大造じいさんの気持ちを考える。 (1) 大造じいさんが、なぜ銃を下ろしたのか考える。 (2) 『強く心を打たれ、ただの鳥に対してしているような気がしない』のは残雪のどのような姿を見たからかを考える。 (3) 『ただの鳥に対してしているような気がしない』から大造じいさんは残雪をどのように見るようになったかを考える。 ○自分の考えを書く。 ○小グループで話し合う。 ○全体で話し合う。 ・他の鳥とはちがう特別の鳥。 ・たかが鳥と思っていたが、勇敢ですごい鳥。 ・ただ賢いだけでなく、リーダー的で人のよう。</p> <p>4 本時学習をまとめ、振り返る。 (1) 本時学習をまとめる。</p>	<p>○大造じいさんの残雪に対する見方の変化がわかるところはどこなのかを意識させて音読をさせる。</p> <p>※2根拠となる文をもとに発表することができるようにする。「〇〇から～だと思えます。」</p> <p>○前時に線を引いているところをもとに発表させる。</p> <p>※1友だちの意見を聞いて、新たに考えたことなど、書き込ませる。</p> <p>※環境2「話し合いの進め方カード」を使い、話し合うことができるようにする。</p> <p>※2根拠となる文をもとに発表することができるようにする。「〇〇から～だと思えます。」</p> <p>○1の場面や2の場面、3の場面の前半と大造じいさんの残雪への見方や気持ちを比べさせる。</p> <p>○「たかが鳥」「あの残雪め」だったのが「ただの鳥に・・・」と変わってきていることに気付かせる。</p>
<p>まとめ 初めはたかが鳥とばかりにしていたが、残雪の仲間を救う頭領らしい堂々とした態度に感動し、残雪を特別な鳥のように見方を変化させた大造じいさん。</p>	
<p>(2) 「今日の学習で」を書く。</p>	<p>※3「今日の学習で」に、友だちの発表のよかったところや話し合いでの自分の変容について書くことで考えの深まりや広がり気付くことができるようにする。</p>

第5学年 組 本時学習指導案

5 本時（7／9）

6 本時の目標

- 大造じいさんが残雪を人格化しているなど、大造じいさんと残雪の関係をみていくことで大造じいさんの心情の変化を読み取ることができる。
- 自分の考えを持ち、友達のと考えを比べながら、話したり聞いたりすることができる。

7 本時指導の考え方

前時までは、残雪との戦いの様子、さらに、体を張って仲間を助けた残雪に対して大きく心情を変化させた大造じいさんについて学習を深めてきた。本時は、悔っていた残雪への見方が対等な関係に変化していった大造じいさんの心情を読み取る場面である。

そこで、はじめに、既習の掲示物やワークシート・教科書から「残雪」の呼称がどのように変化してきたのか、またそのときの大造じいさんの心情がどのようなものだったのか押さえ、確認する。

次に、4の場面での大造じいさんのセリフの中にある、これまでと違う呼称「英雄」「えらぶつ」「おれたち」などに線を引かせ、発表させる。そして、呼称の変化からわかる大造じいさんの残雪に対する見方の変化をワークシートに書かせ、発表させる。ここでは、大造じいさんが残雪のことを人格化し、対等の立場から声をかけていることに気付かせるようにしたい。さらに、「いつまでも、いつまでも、見守っていました。」という文を提示し、その時の大造じいさんの気持ちを、ワークシートに書かせる。その際、「いつまでも」のくり返しの言葉に着目させ、大造じいさんの残雪への気持ちを読み取りやすくする。その後、小グループでの話し合い活動を取り入れ、「話し合いの進め方カード」を使うことで計画的に話し合いができるようにする。その後、全体で話し合い活動をさせ、考えをまとめていく。ここでは、大造じいさんの「残雪の無事を願い、来年も残雪と戦いたい」という気持ちを読み取らせるようにしたい。発表の仕方としては、「〇〇から～と思います。」という話し方を意識して発表することができるようにする。

最後に、小グループや全体での話し合いを通しての、自分の考えの深まりや広がりについて「今日の学習で」を書き、本時の振り返りのなかでそれらを意識することができるようにする。

8 準備

- 教師 板書用カード 挿絵 「話し合いの進め方カード」
- 児童 教科書 ワークシート 色鉛筆

9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

学習活動と内容	教師の支援と手だて
<p>1 前時学習を想起し、めあてを確認する。</p> <div data-bbox="197 421 1453 546" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 「いつまでも、いつまでも」残雪を見守る大造じいさんの気持ちと残雪への見方の変化を読み深めよう。</p> </div>	<p>○3の場面の、「ただの鳥に対してのような気がしませんでした。」の叙述から、大造じいさんの心情の変化を思い起こさせる。</p>
<p>2 4の場面を音読する。</p> <p>3 残雪の呼称の変化から大造じいさんの残雪への見方について話し合う。</p> <p>(1) これまでの残雪の呼称と大造じいさんの心情の変化を確認する。</p> <p>(2) 大造じいさんが残雪に呼びかけている言葉からわかることについて話し合う。</p> <p>4 「いつまでも、いつまでも」からわかる大造じいさんの心情の変化を話し合う。</p> <p>○自分の考えを書く。 ○小グループで話し合う。 ○全体で話し合う。</p> <p>5 本時学習をまとめ、振り返る。</p> <p>(1) 学習のまとめをする。</p>	<p>○残雪の呼称と、大造じいさんの心情の変化を意識しながら、全体で音読をさせる。</p> <p>○1の場面～3の場面の中の残雪の呼称とそれぞれの場面の大造じいさんの心情の変化を押さえる。</p> <p>○4の場面での呼称に線を引かせ、これまでの学習も振り返りながら、考えたことを書かせ、発表させる。</p> <p>○「いつまでも」のくり返しの効果に着目させることで気持ちを読み取りやすくする。</p> <p>※1自分の考えを整理するために書き、発表への姿勢を作ることができるようにする。</p> <p>※環2「話し合いの進め方カード」をもとに話し合うことができるようにする。</p> <p>※2根拠となる文をもとに発表することができるようにする。「〇〇から～だと思えます。」</p>
<div data-bbox="185 1615 1437 1760" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ 対等の立場で見るようになった残雪を、いろいろな思いを持って見送る大造じいさん。</p> </div> <p>(2) 「今日の学習で」を書く。</p>	<p>※3「今日の学習で」に、友達の発表のよかったところや話し合いでの自分の変容について書くことで、考えの深まりや広がり気付くことができるようにする。</p>

第5学年 組 本時学習指導案

5 本時（7／9）

6 本時の目標

- 大造じいさんが残雪を人格化しているなど、大造じいさんと残雪の関係をみていくことで大造じいさんの心情の変化を読み取ることができる。
- 自分の考えを持ち、友達のと考えを比べながら、話したり聞いたりすることができる。

7 本時指導の考え方

前時までは、残雪との戦いの様子、さらに、体を張って仲間を助けた残雪に対して大きく心情を変化させた大造じいさんについて学習を深めてきた。本時は、侮っていた残雪への見方が対等な関係に変化していった大造じいさんの心情を読み取る場面である。

そこで、はじめに、既習の掲示物やワークシート・教科書から「残雪」の呼称がどのように変化してきたのか、またそのときの大造じいさんの心情がどのようなものだったのか押さえ、確認する。

次に、4の場面での大造じいさんのセリフの中にある、これまでと違う呼称「英雄」「えらぶつ」「おれたち」などに線を引かせ、発表させる。そして、呼称の変化からわかる大造じいさんの残雪に対する見方の変化をワークシートに書かせ、発表させる。ここでは、大造じいさんが残雪のことを人格化し、対等の立場から声をかけていることに気づかせるようにしたい。さらに、「いつまでも、いつまでも、見守っていました。」という文を提示し、その時の大造じいさんの気持ちを、ワークシートに書かせる。その際、「いつまでも」のくり返しの言葉に着目させ、大造じいさんの残雪への気持ちを読み取りやすくする。その後、小グループでの話し合い活動を取り入れる。「話し合いの進め方カード」を使うことで計画的に話し合いができるようにする。また、三人グループで行うことで、より深い話し合いができるようにする。その後、全体で話し合い活動をさせ、考えをまとめていく。ここでは、大造じいさんの「残雪の無事を願い、来年も残雪と戦いたい」という気持ちを読み取らせるようにしたい。発表の仕方としては、「○○から～と思います。」という話し方を意識して発表することができるようにする。

最後に、小グループや全体での話し合いを通しての、自分の考えの深まりや広がりについて「今日の学習で」を書き、本時の振り返りのなかでそれらを意識することができるようにする。

8 準備

- 教師 板書用カード 挿絵 「話し合いの進め方カード」
- 児童 教科書 ワークシート 色鉛筆

9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

学習活動と内容	教師の支援と手だて
<p>1 前時学習を想起し、めあてを確認する。</p>	<p>○3の場面の、「ただの鳥に対してのような気がしませんでした。」の叙述から、大造じいさんの心情の変化を思い起こさせる。</p>
<p>めあて 「いつまでも、いつまでも」残雪を見守る大造じいさんの気持ちと残雪への見方の変化を読み深めよう。</p>	
<p>2 4の場面を音読する。</p> <p>3 残雪の呼称の変化から大造じいさんの残雪への見方について話し合う。</p> <p>(1) これまでの残雪の呼称と大造じいさんの心情の変化を確認する。</p> <p>(2) 大造じいさんが残雪に呼びかけている呼称からわかることについて話し合う。</p> <p>4 「いつまでも、いつまでも」からわかる大造じいさんの心情の変化を話し合う。</p> <p>○自分の考えを書く。 ○小グループで話し合う。 ○全体で話し合う。</p> <p>5 本時学習をまとめ、振り返る。</p> <p>(1) 学習のまとめをする。</p>	<p>○残雪の呼称と、大造じいさんの心情の変化を意識しながら、音読をさせる。</p> <p>○1の場面～3の場面の中の残雪の呼称とそれぞれの場面の大造じいさんの心情の変化を押さえる。</p> <p>○4の場面での呼称に線を引かせ、これまでの学習も振り返りながら、考えたことを書かせ、発表させる。</p> <p>○「いつまでも」のくり返しの効果に着目させることで気持ちを読み取りやすくする。</p> <p>※1自分の考えを整理するために書き、発表への姿勢を作ることができるようにする。</p> <p>※環2「話し合いの進め方カード」をもとに話し合うことができるようにする。</p> <p>※2根拠となる文をもとに発表することができるようにする。「〇〇から～だとします。」</p>
<p>まとめ 対等の立場で見るようになった残雪を、いろいろな思いを持って見送る大造じいさん。</p>	
<p>(2) 「今日の学習で」を書く。</p>	<p>※3「今日の学習で」に、友達の発表のよかったところや話し合いでの自分の変容について書くことで、考えの深まりや広がり気付くことができるようにする。</p>